

ネット会議ツールは、誰もがどこにいてもインターネットを通じて、気軽につながることができる便利なツールです。最近では、新型コロナウイルスの影響で出勤や外出が制限され、テレワークやオンライン飲み会などでネット会議ツールが盛んに用いられています。都合の良い時間もある場所もバラバラなメンバーが集って活動する市民活動において、ネット会議ツールは個人の事情に合わせて使うことができ、非常に相性がよく便利です！これを機に団体活動に活用してみませんか？



こんなときに使えます！

会議

遠方または、時間の限られた人とも簡単に「打ち合わせ」や「会議」ができます。

イベント

「セミナー」や「座談会」、「ステージ発表」など、様々なイベントをオンラインで開催できます。



ネット会議ツールを活用している団体の声

主に、打ち合わせや座談会、個別相談でZoomを活用しています。会員が集まるのが難しい状況の中、顔を見ながら話せるので安心感があります。外出や時間を合わせる手間が省け、誰かにお子さんを預けなくても気軽に参加いただいています。

ひだまりハウス
～発達障がい児を支える家族会～
小西さん

ネット会議ツールの特徴

<p>「Zoom」</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓招待をしたメンバーと話せる ✓最大1,000人まで(無料は100人)が参加できる ✓画面上に資料データを映しながら話ができる <p>推奨シーン 大人数が参加できるイベントや会議など</p>	<p>「Messenger」 「LINE」</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓互いに事前承認したメンバーと話せる ✓LINEは最大200人、Messengerは最大50人まで参加可能 ✓日常的に使い慣れている人が多く、手軽にできる <p>推奨シーン 団体メンバー内の打ち合わせや相談など</p>
--	--

MessengerやLINEは無料で使えます。Zoomは無料で使うこともできますが、利用時間や人数に制限があります。詳しくは公式HPをご覧ください。

この団体ができること

私たち、「ウィメンズヘルスlab」は女性特有のがんの支援講座ができます！

女性が自身の健康に関心を持ち、乳がん・子宮がんの早期発見と予防ができるよう、支援活動を行っています。地域のイベント、企業や学校などで、基礎知識の説明や乳がん模型を用いた自己検診方法の講座ができます。



協力してほしいこと イベント出展、出張講座の機会があればお声がけください。

活用しよう！協働マッチングリスト

市民活動団体の「協力できること」「協力してほしいこと」をまとめたリストです。リストを開けば、助けになる団体、または力になれる団体がきっと見つかります！



センターからのお知らせ

団体運営のテコ入れに！
専門家を無料派遣！

出前相談

会計 法人設立

活動団体の組織運営能力アップを目指して各団体のニーズに合わせた講師を無料で派遣します。この機会に団体のお悩み解決、スキルアップを図りませんか？ヒアリングの後、派遣する専門家を決定します。まずは協働センターまでお問い合わせください。

対象 長岡市内のNPO法人、市民活動団体など公益的な活動をしている団体

募集数 4団体(先着順)

申込期間 2021年2月末まで随時受付

相談の例

- ・ネット会議ツールの使い方を教えてほしい(子育て、社会福祉系市民団体)
- ・育児休暇を取る予定のスタッフがいるため制度を整備したい(福祉系NPO法人)

協働センター

Q&A

よく寄せられるご相談

Q. パソコンを持っていないのですが、ネット会議に参加できますか？

A. スマートフォンでも参加することができます。パソコンだと、画面に表示できる人数が多く、使える機能も多いので、主催者はパソコンがあると便利です。

Q. プライベート空間や自分の顔を映したくない時は、どうしたらいいですか？

A. Zoomでは、自分が映っている背景を変えたり、カメラ機能をオフにすることもできます。LINEやMessengerでは、グループ通話だと顔を出さずに話することも可能です。

配布場所 長岡市役所及び各支所、サービスセンターの他、市内図書館、コミセン、子育ての駅等、公共施設に設置しています。

要チェック！タイムリーな情報と協働センターの日常

f @NkyodoCenter | t @nagaoka_kyodo | i @mytown0258

らこらま

Racotte vol.90
発行 ながおか市民協働センター

2020
6
FREE

今月のインタビュー

人に寄り添う絵本屋店主
ひろかわかよこさん

活動地域 長岡市

活動分野 | みんなの癒やしの場づくり
団体での役割 | 癒やし担当
私の取扱説明書 | 放っておくと行方不明になる
得意技 | 人の話を聞くこと

山、川、海と自然を愛する遊び人
大竹正幸さん

活動地域 栃尾

活動分野 | 地域づくり
団体での役割 | 元団体代表
私の取扱説明書 | 褒められると伸びる
弱点 | 数字・計算

Nagaoka

活動PickUp!

- 桜並木と景観を守る会
- 与板削ろう会
- ぴたっ!と抱っこ会
- 桜井ふとん店

市民活動・虎の巻

『市民活動のネット会議ツール活用』

この団体ができること

私たち、「ウィメンズヘルスlab」は女性特有のがんの支援講座ができます！

毎週月曜日17時頃から放送中!
つながるラジオ
ながおか市民活動 FMながおか 10分程度放送
紹介番組 80.7MHz 第5月曜日を除く

ながおかの市民協働のポータルサイト
コライト、見ない!
協働センターのホームページ「コライト」では、市民が行うイベントや助成金などの情報を幅広く掲載しています。らこらからのバックナンバーも閲覧できます。
https://nkyod.org
コライト

地域をよくするウワサのあの人にインタビュー！

活動に込める気持ち、これまでのいきさつ、組織での役割……。根掘り葉掘りお聞きしました。

ひろかわ かよこさん(46歳)

ちいさな書店「little books」店主／
ながおかみんなの子育てラボ、コムラボ・ぼうの会

1973年、長岡市生まれ。週2回自宅の一室を開放し、ちいさな書店「little books」を主宰。絵本セラピスト®の資格を活かし、様々な場所で活躍する2児のママ。



●子育ての駅で行った「赤ちゃんを楽しむ絵本タイム」。絵本の読み聞かせをしながら、0歳児の赤ちゃんが楽しめる読み聞かせのポイントをお伝えしました。

活動の根っこ
みんなもっとらしくに
なるくあがたく、
ひろかわりよこ

みんなの気持ちを楽しみに
絵本と開く人の心

壁や棚の上に並べられた絵本、気持ちがほぐれるアロマの香り、心地良いピアノの音。それぞれの絵本には、その絵本に対するコメントが貼ってあります。絵本だけではなく、訪れる一人一人への愛情が感じられるちいさな書店「little books」の店主が、絵本セラピスト®ひろかわかよこさんです。

「絵本セラピー」を初めて新潟県に導入したひろかわさん。幼い頃から本が好きで、2010年に長岡市主催のブックスタートボランティア養成講座を受講し読み聞かせを始めました。そんなひろかわさんが絵本セラピスト®になったきっかけは、東日本大震災発生後に被災者の方に少しでも楽しんでもらおうと臨んだ絵本の読み聞かせでした。「子どもと大人の反応のギャップにショックを受けました。楽しそうな子どもたちに比べ、大人たちはこの大変な状況を何とかするのに必死でした。」

絵本を聞くだけではなく、それを通じて自分の気持

ちを吐き出せる機会を届けたいと思ったひろかわさん。この出来事を機に絵本セラピスト®の資格を取得し、ただ読み聞かせるだけでなく、読み聞かせやワークを通して自分の思いを言語化するお手伝いができるようになりました。今ではその資格を活かし、子育てを応援する「ながおかみんなの子育てラボ」では「絵本セラピー」のイベントを開催。双葉寮への訪問活動を行う「コムラボ・ぼうの会」を主催し、絵本の読み聞かせをしたり、子どもたちとおもちゃで遊んだりしています。「絵本を通して自分の想いを語り合うことで、みんなが心に抱えていたものがほぐれていくのがわかります。やりがいを感じる瞬間です。」

活動の根底にあるのは、「みんなの心が軽くなればいいな」という想い。「『頑張らなきゃ』と思っている人が多い時代に、『気持ちを楽にして生きてもいいんだよ』と伝えていきたい。私からそれを受け取った人から、周りの人へ波及していけばいいなと思っています。」

先輩から受け取った栃尾ワインの
夢のバトンを次世代へつなぐ

栃尾の繊維産業が衰退していく中、2000年頃に、退職後の人たちを中心に「新しい特産品を作りたい！」と耕作放棄地を使ったワイン用ブドウの生産が始まりました。しかし、ボランティア運営だったこともあり、開始3年で資金難に。そこで『栃尾のワインを楽しむ会』を立ち上げ、資金確保のため1口1万円円で3年間、毎年新酒2本が届く会員制度を作りました。その際に会計と事務局として白羽の矢が立ったのが、「頼まれたら断れない性格なんです」と微笑む大竹正幸さんでした。

その後、会の代表も務め、収穫体験や新酒の試飲パーティーを開催するなど会員拡大を図ってきました。「大変な思いもしましたが、会員さんの中には栃尾地域外の方も多くいらっしゃり、栃尾のファンを増やすことにやりがいがあります」。また、ワイン用ブドウの生産強化にも着手。2013年には、地域の農家を巻き込んで、とちお農園株

式会社を設立しました。

それでも事業継続のためには、さらなる販路拡大と事業の収益化(コミュニティ・ビジネス化)が課題です。その中で心強かったのが息子・幸輔さんのUターンでした。デザイナーの幸輔さんは2016年にとちお農園株式会社の事業を引き継ぐとワインラベルのデザインのリニューアルを担当。2017年には販売拠点の『栃尾ワインの店 葡萄の杜』をオープン。宣伝広告に力を入れ2018年には製造したワイン3,000本全てを初めて売り切ることができました。

「自分では考えつかなかったアイデアを若い世代だったら思いつく。自分でわからないことは、そのまま残して若い世代に任せようと思っています」という大竹さん。栃尾ワインの収益化への道のりはまだ途中。長年思い描いていた生産から醸造までを地域内で手掛けるワイナリーの建設に向けて、次の世代にバトンが引き継がれていきます。

大竹 正幸さん(80歳)
自営業/栃尾のワインを楽しむ会 元代表、とちお農園株式会社 元代表

1940年、群馬県前橋市生まれ。取締役社長として家業の有限会社大竹洋品店を営んでいる。「栃尾のワインを楽しむ会」では会員向けのワイン試飲会を開催。

●栃尾の大倉地域では、開始当初は県内でも珍しかったドイツ原産のブドウであるケルナー種を栽培しています。

活動の根っこ
地域の特産品
と収益化
開発
大竹正幸

活動PickUp!
生の声は「ラジオ」「コライト」で!
「つながるラジオ」で取材した団体をご紹介します

寺泊
桜並木と景観を守る会
住民の力で守る桜並木

寺泊の玄関口でもある大河津地区の県道沿い東西2.5kmに咲く、約180本の八重桜並木の整備を平成23年より行っています。平成の始めに、天皇陛下の御即位と用水路改修工事竣工を記念して、植樹された桜並木。地域住民の手で守り育て、次世代に引継ぎ、地域の自然環境と景観保全のため活動をしています。現在74名の会員が春だけでなく、年間を通して樹木の下草狩りや剪定などを行い、毎年きれいな花を咲かせています。

与板
与板削ろう会
匠の技で地域を盛り上げる

与板の特産品である打刃物のPRと匠の技術の素晴らしさに触れてもらう機会を提供するため、毎年6月に「越後与板打ち刃物職人祭&ミニ削ろう会」を実施しています*。来場者は一般市民の他に、全国各地の与板打刃物を使っている大工職人や海外からのリピーターも多く、世界中に仲間の輪が広がっています。これからも、鍛冶職人の技術向上、技術伝承、後継者育成を目指し、与板を盛り上げながら活動を続けていきます。
*今年も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。

長岡
ぴたっ!と抱っこ会
抱っこで広がる親子の笑顔

相談会や出張講座を通して、大人にも赤ちゃんにも身体的な負担のない抱っこやおんぶのコツをお伝えしています。身体が痛くても我慢していたお母さんの表情が明るくなり、抱っこされている赤ちゃんがご機嫌になったり安心して寝たりしているのを見ると、とても幸せな気持ちになります。これからも、抱っこ支援が地域で子育てをする方にとって、より身近な存在になるように活動していきたいです。

長岡
桜井ふとん店
縫製技術と資材をマスク支援に活用

寝具製造販売の老舗です。新型コロナウイルスの影響により製造が停滞してしまったことから、自店の縫製技術を活かし布団や枕に使う布の端切れで布マスクを製作・販売し始めました。また、一般の方に手作りマスク用の端切れを無償で配布しました。この取り組みがFacebookなどで反響を集め、マスクや布を求める多くのお客さまから、ご来店いただきました。埋もれかけていた地域のお互い様のつながりを感じることができました。

みんなの声
投稿 随時募集中
投稿テーマ 「長岡みんなのSDGs」
投稿方法 投稿フォームを使う、協働センター窓口で投稿する
QRコードから投稿フォームへアクセスしてください。
協働センター窓口には設置されている「みんなの声」コーナーからも投稿できます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す17の目標「SDGs」に関する投稿を掲載しています。
SDGsに関する詳細は、令和2年度らって4月号の「虎の巻」をご覧ください。

投稿者 犬より猫派さん
いよいよ4月1日から様々なお店で、レジ袋の有料化が始まりましたね!これもSDGsの企業の社会的責任だと認識しています。だからこそ消費者もしっかり理解してエコバックを持ち歩きたいと思っています。私は買い物かごにすっぽり入るエコバックがお気に入りです。レジと同時に袋詰めしてもらえると、子どもと買い物の時は本当に助かっています。みんなの小さな一歩から、廃プラスチックが減り少しでも海の環境が守れますように。